

2023年度 名古屋高速道路公社 入札監視委員会の結果について

開催日及び場所	2023年8月4日(金) 名古屋高速道路公社 黒川ビル2階 大会議室	
委員	長谷川 ふき子(委員長 弁護士) 野田 直季(委員長代理 公認会計士) 前田 健一(名古屋工業大学教授) (敬称略)	
審議対象期間	2022年4月1日～2023年3月31日	
抽出事業案 〔工事〕	総件数 2件	
一般競争入札	(総合評価落札方式) 2件	令和4年度高速2号東山線他空調設備更新工事
		令和4年度高速1号楠線舗装補修工事
抽出事業案 〔業務〕	総件数 2件	
一般競争入札	(総合評価落札方式) 1件	令和4年度市道高速1号他標識等詳細設計業務委託
	(価格競争方式) 1件	令和4年度高架下植栽管理等業務委託
委員の質問等 に対する回答	質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
講評	①いずれの抽出案件も入札手続きが適正に執り行われていると認められる。 ②低入札対策の強化がなされ、それが効果を発揮していると評価できる。	

委員の質問等に対する回答

1) 工事

抽出事案	質問	回答
令和4年度高速2号東山線他空調設備更新工事【一般競争】	<p>当初発注時に不調となり、再発注した際に参加者数が増えた工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ不調となったのか。 ・再発注の際に、工夫した内容を知りたい。 ・参加者が増加した理由を知りたい。 	<p>本工事は、参加した1者の入札金額が調査基準価格を下回ったため、失格判断基準の確認を行ったところ、現場管理費の値が基準を下回っていたため、失格となり、不調となった。本工事の諸経費の算出は、2つの工種で構成されており、個々に諸経費を計算し、合算する必要があったが、参加者にヒアリングを行ったところ、全体を諸経費率の低い工種で算出してしまったとのことであった。</p> <p>再発注にあたり、本工事には複数の工種があることを参加者に分かりやすくするため、工事名を変更するとともに、正確に諸経費を算出できるように設計書の構成を見直した。また、工事期間やフレックス期間を当初より長く設定する見直しを行った。</p> <p>参加者数が増加した理由は、発注時期がずれたこと、工事期間やフレックス期間が見直されたことにより、当初発注時と比べて技術者が配置可能となり、参加者が増加したのではないかと推察される。</p>
令和4年度高速1号楠線舗装補修工事【一般競争】	<p>落札率が低く、低入札価格調査対象となった工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札率が低かった理由を知りたい。 ・低入札価格調査の結果、落札決定とした理由を知りたい。 	<p>本工事の落札率が低くなった理由として、材料を自社プラントより調達することで通常より安価に納入ができること、本工事で発生する廃材を関連会社の再資源化処理施設に搬出し工事費を低減できること、自社施設を工事事務所として有効活用することで経費が削減できることを確認した。</p> <p>落札決定とした理由は、上記に加え、施工品質に関して、公社や他団体においても公共工事の実績が多数あり、他団体から優良工事表彰を受けた実績があることで、十分な品質を確保する技術力が期待できること等を確認したことから、適切な工事の履行が確保できると判断したためである。</p>

2)業務

抽出事案	質問	回答
<p>令和4年度市道高速1号他標識等詳細設計業務委託【一般競争】</p>	<p>落札率が低く、低入札価格調査対象となった業務 ・落札率が低かった理由を知りたい。 ・低入札価格調査の結果、落札決定とした理由を知りたい。</p>	<p>本業務に低価格で入札した理由を確認したところ、他機関から類似の標識等設計を多く受注した実績から、業務品質を確保した上で、効率的に業務遂行できる点、人件費については、これまでの社内実績等を基に、独自に算定したとのことであった。また、間接費については、企業努力として低減に努めているとのことであった。</p> <p>落札決定とした理由は、低入札価格調査の結果より、官公庁での同種業務の実績を多く有しており、十分な品質を確保する技術力が期待できること、同種業務の検討成果・検討プロセスを活用すること等により、効率的に業務を遂行していること等を確認したことから、本業務を適切に履行可能であると判断したためである。</p>
<p>令和4年度高架下植栽管理等業務委託【一般競争】</p>	<p>参加者が多かった業務 ・参加者が多かった理由を知りたい。</p>	<p>本業務は、都市内の現場であり交通規制を伴うような作業場所ではないことから、作業の効率性がよいと思われる。また、本業務の入札を4月当初に行っているため、年度末に業務が完了した業者が入札に参加しやすい条件が整っていたのではないかとと思われることから、結果的に参加者が多かったと推察される。</p>